

(電子メール施行)  
農 技 第 1301 号  
令和 2 年 11 月 4 日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和 2 年度病虫害発生予察特殊報 第 2 号を下記のとおり発表します。

---

## 令和 2 年度病虫害発生予察特殊報 第 2 号

- 1 病虫害名       タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)
- 2 発生作物       ナス、トマト
- 3 発生地域       県南部地域
- 4 発生経過

### (1) 発生確認の経緯

令和 2 年 9 月、県南部地域の露地ナス圃場<sup>ほ</sup>において、葉を食害するハムシ類成虫が確認された（写真 1）。また、10 月には同地域のトマト栽培施設で、葉を食害するハムシ類成虫が確認された。

農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、いずれも本県では未確認のタバコノミハムシ (*Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)) であることが判明した。

### (2) 他府県での発生状況

本虫は中央～北アメリカを原産とする外来種である。

国内では平成 23 年に群馬県で初確認され、その後、平成 24 年に栃木県、平成 25 年に神奈川県、平成 27 年に静岡県、平成 28 年に愛知県、平成 29 年に三重県、岐阜県、平成 30 年に大分県、新潟県、令和元年に奈良県、滋賀県、岡山県、大阪府、京都府、令和 2 年に山梨県、和歌山県、長野県、広島県から発生の報告がある。

## 5 形態及び生態

### (1) 形態

成虫の体長は1.5～2.5mm、体型は長楕円形でやや扁平であり、後腿節が顕著に肥大している。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅に不明瞭な黒斑がある(写真2)。

### (2) 生態

ナス科作物を食害し、国内ではこれまでにナス、トマト、ジャガイモ、ホオズキ等への加害が報告されている。

成虫は発達した後脚により活発に跳躍する。関東地方では5月から11月まで成虫の発生が確認されている。

卵は地表に産み付けられ、孵化した幼虫は地中で根を食害した後、地表近くで蛹化する。成虫は落葉等の下で越冬する。

## 6 被害の特徴

成虫は葉の表皮を残して食害するため、白い点状の食害痕(直径1～2mm程度)が観察される。また、貫通して食害されると円形の穴が空く(写真3、写真4)。

現在のところ、葉や花卉以外の被害は報告されていない。

## 7 防除対策と注意点

(1) 令和2年10月現在、本虫に対する登録農薬はないが、本県ならびに他府県でこれまでに発生が認められた園地では、減農薬、無農薬栽培が行われている事例がほとんどであり、通常の薬剤防除を行っていれば、重大な被害が発生する可能性は低いと考えられる。

(2) 近隣のナス科植物への移動を防ぐため、本種に加害された作物は、栽培終了後、速やかに残渣を処分する。

\*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222



写真1 タバコノミハムシ成虫

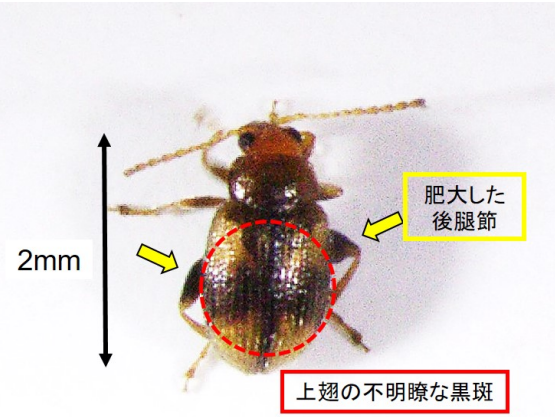


写真2 形態的特徴

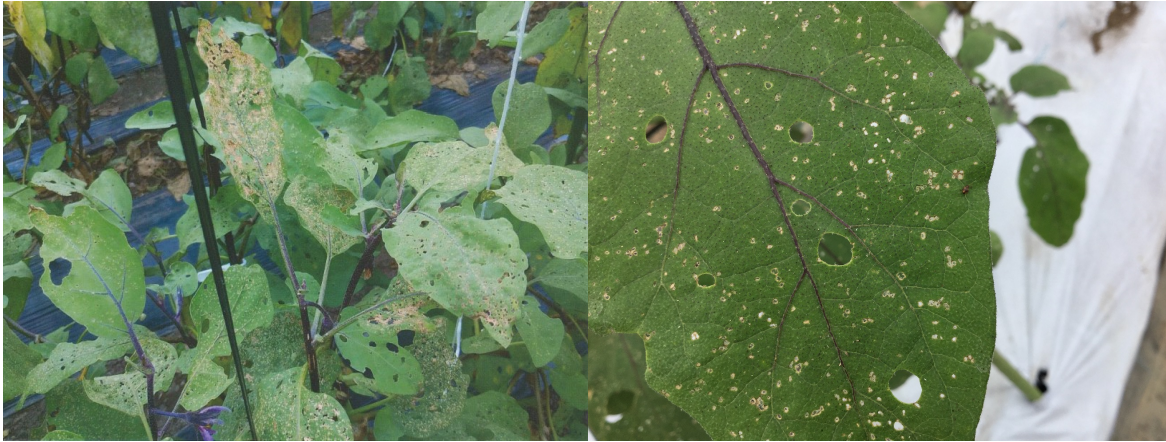


写真3 ナスの被害葉



写真4 トマトの被害葉